



紙芝居『いのちをいただく』 2/15 48名参加

土江道子さん(武志第一)、山根繁子さん(協生三)、鶴原栄美子さん(寺小路)に紙芝居を読んでいただきました。スクリーンに映し出した実話に基づいた物語を優しい口調で朗読してくださいました。食肉解体業を仕事とする父と少年、小さい頃から一緒に育ってきた牛のみいちゃんとの別れを悲しむ少女。「生きるために食べる」「食べるために働くこと」たくさんの深い学びがありました。子どもたちも真剣な顔で物語に見入っていました。鑑賞後の感想では「これからは心を込めていただきますと言ってご飯を食べます」「命の大切さがわかりました」など発表してくれました。



郷土芸能体験『どじょうすくい』 3/1 46名参加

唐木好美さん(大年三)、角 隆さん(高岡西)等による生の三味線、太鼓、鼓、安来節の歌に合わせてどじょうすくい踊りを教えていただきました。少し恥ずかしながらも、みんな楽しそうに踊っていました。郷土芸能を体験することで故郷の温かさや素晴らしさを大人になっても忘れないでいてほしいと思いました。

MARCH

第186号

2021. 3. 5

春の足音が聞こえてきました

かわと

実践目標 「心豊かな住みよい地域づくり」

キャッチフレーズ **～花びら・雲ひら・やまのきのみ～**

発行 川跡コミュニティセンター

TEL 21-0694 FAX 21-0724

E-mail: kawato-cc@ocal.city.izumo.shimane.jp

ブログ **川跡コミセン公式ブログ** 検索

随時更新中

世帯数	4,019世帯 (+29)
人口	10,170人 (+42)
(男)	4,948人 (+18)
(女)	5,222人 (+24)
中野町	1,300世帯 3,187人
武志町	808世帯 2,131人
荻杵町	586世帯 1,414人
福岡町	476世帯 1,177人
高岡町	849世帯 2,261人
面積	5.4 ㎢
発行	令和3年3月5日発行

男の味噌づくり体験 2/13(土) 参加者15名 山本知子先生 食をまな部

恒例となった味噌作りを、今回は「男の味噌作り体験」と題して男性の参加者を多く募り開催しました。大鍋いっぱい大豆をすりつぶし、塩糎と混ぜ、固める。実は重労働な味噌作りですが、終始楽しそうな声が聞かれました。今回作った味噌の食べごろは8月中旬以降とのこと。できあがりを楽しみですね。

【参加者の感想から】

★味噌作り体験は初めてです。母親が作っていた時から始めてです。味噌汁は毎朝一杯飲んでいますが、自分が作った味噌汁を飲むのが楽しみです。今後は自分が味噌汁を作りたいと思います。

★昔は杵でついたものですが、本日のように少量でのみそ作りははじめてでした。先生の指導で作り方もよく理解できおいしそうなお味噌が出来ました。半年後の味が楽しみです。楽しい2時間余でした。

★昨年、初めて味噌作りに参加させてもらったから、我が家は手作り味噌にはまっています。塩分12%の味噌はとてもちょうどよく、毎朝いろんな具を入れて楽しんで健康に気を付けるようになりました。川跡の方とも交流でき、とても楽しい時間を過ごさせてもらいました。

★本日が2回目の味噌作り体験でした。4人で1つのグループくらいが、皆が同じ工程作業ができ、自分も参加しているという充足感がありました。先生に気軽に質問もでき、今度は家で自分で味噌作りをしてみたいと思いました。昨年この味噌作り体験で作った味噌は一味違う家族が皆喜びました。今年もこの味噌が食べられるのが待ち遠しいです。



講演会 「すてきに輝く…これからのあなたへ」 1/28 55名参加 共催：川跡幼稚園・川跡地区同和教育推進協議会

○講演『「ういらか」を生きる』 講師 中村清志氏 (元 県立松江東高等学校 校長)

【感想から…】

★始まってから終わるまで、ずっと涙が止まりませんでした。子どもにイライラしたり腹の立つこともありますが、子どものかわいい姿を思い浮かべ、今の一瞬一瞬を大事に生活していきたいと思いました。一番心に残っているのは“子どもにとって一番の環境は、母親が笑顔でいること”と言われていたことで、今後、常に心に留めていこうと思いました。

★「ういらか」って何だろうなど思いながら、中村先生の話の聞きまわりました。先生ご自身とお子さんの体験をもとに色々な子育ての話をしてくださいました。自分のこれまでの子育てに関わらず、全部の体験を重ねてきたことをふり振り返りながら、反省もし、色々気付かせていただいたことも多かったです。ありがとうございました。子育て中の親の気持ちに寄り添ってもらえた気がしました。

★始めから最後まで、涙、涙でした。皆さんそうだったと思います。親になった喜び、改めて感じる一時でした。お腹の中で亡くなる命を思うと、そのお母さん、お父さんの気持ちになると、本当に生まれてきたことに感謝、それだけで「有り難い」事だと、ひしひし感じます。日々は人間対人間ですし、腹も立ったり、辛いことにもぶつかったりしますが、生まれてきてくれたこと、この大事な幼児期を忘れずに思い出し、そして今の目の前の子どもをしっかり抱きしめてあげたいと思いました。胸が熱くなる、とても素晴らしい講演でした。

★子どもの為、家族の為にすごす日々、忙しい大変だなど思うことが多いですが、一緒に生きていく家族がいること、それってすごく幸せなことなんだと改めて気づかされました。子どもの寝顔を見ては、今日も怒ってゴメンねと思うことがあります。イライラした時にはホッと深呼吸して、たくさん抱きしめようと思いました。私たち家族を選んで生まれてきてくれてありがとう。元気に育ててくれてありがとう。大好きって言ってくれてありがとう。色々な感情が溢れてきました。これからはたくさん触れあい、話し、みんなで一緒に笑いながら生きていきたいです。

★いろいろな思いを聞かせてもらい、あらためて「今」の大切さを思いました。子供の成長は無我夢中の子育て中においてはあっという間のような気もするので、「今、目の前にいる子どもが一番かわいいときは今」と私もそう思って過ごしたいなと思いました。子供たちは体はとて大きくなりましたが、本当に寝顔は赤ちゃんの頃と変わりません。楽しい事、嬉しい事、大変な事、怒ってしまう事、色々ありますが、今回のお話や思ったことを忘れないようにしたいです。

★今までの自分が悩みながら頑張ってきたこと、何気なくしてきたことを認めてもらえたような、肯定してもらえたような、労ってもらえたようなそんな講演会でした。リセットですら流産ですらつらいのに死産のつらさははかりしれません。元気にうまれてくるって本当に奇跡、その奇跡が隣に在ること、自分もその1つであることを胸にこれからも子育てをしていきたいです。周りから鼻をすする音が聞こえ、皆、同じように悩みながら毎日を送っているんだと思えるだけで心強くなりました。



- ご芳志ありがとうございます (R3・3・3 現在)
- 川跡自治協会・川跡地区社会福祉協議会(金一封)
 - 佐野貞夫様 (故・信子様) [中野美保三]
 - 福代啓子様 (故・一郎様) [福岡大年二]
 - 山本武夫様 (故・精三様) [中野美保一]
 - 川上 宏様 (故・延子様) [荻杵報徳上]
 - 吉田晴行様 (故・初栄様) [高岡大目]
 - 鎌田喜久様 (故・秀男様) [福岡大年北]



島根県立大学出雲キャンパスの学生さんに援助を

「支援いただいた方々」 (敬称略)

(1月8日～2月25日)

- 三原敦子・藤川節子
- 椿 和夫・片寄千鶴子
- 匿名希望4名

支援金 115,000円 (総額 450,510円) 物資：段ボール3箱

学生さん支援のチラシを見た川跡にお住いの方が、ご自分の職場で呼びかけくださり、たくさんのお支援物資と一緒に届けてくださいました。温かい支援の輪が広がっています。

りそな銀行 グループカスタマーセンター島根様から贈呈



2/26 自衛消防訓練を行いました。コミセンでは年2回訓練を行っています。この日はコミセン利用者の似顔絵教室の方々にも参加頂き、コスモ電設工業さんの指導で水消火器を使って消火訓練を体験していただきました。訓練後に「消火器の使用期限」について質問が出ました。10年が期限ですが、屋外等に設置してある物など錆が出て劣化すると爆発の危険があるので早めに取替えが必要とのことでした。みなさんも家の消火器の使用期限年をチェックしてみてください。

かわとのマスコットキャラクター

【かわとひめ】

の名前決定について、昨年12月センター報でもお知らせしましたが、10月の総合文化祭で地域の皆様に名前を募集し、その中から上位5つに絞る一次投票を行い、その後、コミセン来館者の方々に再度投票していただき決定しました。総合文化祭でこの名前を書いて応募くださった方は3名でした。ご紹介します。

【かわとひめ】 山崎有也さん(灘分町)

【かわと姫】 大濱 宏さん(武志寺小路)

【川跡 姫】 吉田千恵子さん(高岡大目)

今後、様々な啓発品等で「かわとひめ」が登場しますので、ご期待くださいネ!